

萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）は、写真共有アプリ「インスタグラム」を中心にSNS戦略を展開している。「ドライバー募集」にこだわらず、デザイントラックなどもアピールし、まずは自社に興味を持ってもらえらることを目指して取り組みを進めていく方針だ。

（吉田英行）

#SNS

5

ターをデザインした管理部総務課の川島実央子係長は「もともと紙の社内報の連載記事用のカットとして作ったものをSNSで活用することにした。親しみを持ってもらえるよう、緩いタッチで描いた。会社のイメージキャラクターとして定着させることができれば」と期待を込める。

23年8月以降は動画のアップも開始。24年からは動画編集の技術を高め、中継輸送のイメージ動画などテレビCMに近い動画を制作し、YouTubeで限定配信も行っている。

再生回数が伸びるのは、何といっても目を引くインパクトのある画像だ。しか

萬運輸

デザイントラック案募集

社長をキャラクター化

し、コンプライアンス（法令順守）に配慮しながらの運送業務の中で、そうした画像は見つけにくい。そこらう戦略を取る。

で同社は「あなたの描いたデザインをデザイントラックにして走らせませんか」との呼び掛けにより、デザ

中心の役割を担う管理部の平山摩利王次長代理は「運送会社だから『ドライ

バー、整備士を募集』では

なく、別の切り口から興味を持ってもら

えるようにするの狙い。

募集は準備が

「じゃちゃうくん」を掲載した会社説明会の幕を掲げる

平山次長代理（右端）

らSNS制作の中心メンバー

安全、品質、コンプライアンス意識が高く、社員や社風の真面目さに定評のある同社。田澤氏は「企業として『バズる』ことを狙うのは難しいが、面白くする中心となり、通常業務と兼務でコンテンツ企画・制作を進めている。SNS制作に多くの時間をかけること

ができない中、課題に向き合いながら定期的に発信を続けていくには、コンテンツを制作しやすい環境の整備、業務効率化、スキルや知識を持つ人材が必要だ。同社では25年度、社内のパソコンを入れ替える計画がある。これに合わせ、動画編集に適した性能を持つ機種を複数台導入する。また、コンテンツのベースづくりに生成AI（人工知能）を活用。通常業務と兼務しながら質の高いコンテンツを効率的に制作できる環境づくりを進めていく。隙間ワークでSNS制作に携わるインフルエンサーを募集することも視野に入れる。



＜トラック運転手・自動車整備士・事務職＞
会社説明会
第3土曜日開催中!!
お気軽にどうぞ!
じゃちゃうくん